

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

放送業務委員会（第 36 回）議事概要（案）

日時：令和 2 年 1 月 20 日（月）14:00～15:30

場所：総務省 8 階 第 4 特別会議室

出席者：

都竹主査（名城大学）、伊丹主査代理（東京理科大学）
 岩田専門委員（(株)テレビ東京）、大谷専門委員（東芝インフラシステムズ(株)）、
 川口専門委員（(株)テレビ朝日）、児玉専門委員（日本放送協会）、
 下地専門委員（パナソニック(株)）、中村専門委員（日本放送協会）、
 西田専門委員（日本放送協会）、日野専門委員（(株)TBS テレビ）、
 松井専門委員（(一社)電波産業会）、柳原専門委員（(株)KDDI 総合研究所）、
 吉野専門委員（NTT 未来ねっと研究所）

説明者：

甲斐氏（日本テレビ放送網(株)）、西本氏（日本放送協会）、熊丸氏（日本放送協会）、
 三谷氏（日本放送協会）、蔀氏（日本放送協会）、大西氏（日本放送協会）

事務局：

総務省 情報流通行政局 放送技術課
 塩崎課長、木村技術企画官、梶原補佐、植田係長、伊地知官

【配布資料一覧】

資料 放-36-1	放送業務委員会（第 35 回）議事概要（案）
資料 放-36-2	2020 年 2 月 ITU-R SG6 関連会合の概要
資料 放-36-3	放送業務 WG における検討結果
資料 放-36-4	外国寄与文書審議表（案）一覧
資料 放-36-5	日本寄与文書（案）一覧
資料 放-36-6	<u>ITU-R SG6 関連会合への対処方針（案）</u>
資料 放-36-7	今後の検討スケジュール（案）
資料 放-36-8 （参考資料）	国際電気通信連合（ITU）2019 年無線通信総会（RA-19）の結果について（第 146 回情報通信審議会情報通信技術分科会資料）
資料 放-36-9 （参考資料）	国際電気通信連合（ITU）2023 年世界無線通信会議（WRC-23）の議題一覧（第 146 回情報通信審議会情報通信技術分科会資料一部抜粋）
参考資料 1	放送業務委員会構成員名簿
参考資料 2	2019 年 7 月 ITU-R SG6 会合後に承認された勧告等

※下線部の資料は構成員及び関係者限り。

議事概要

1. 配布資料の確認

事務局より、配布資料の確認が行われた。

2. 前回議事概要の確認

都竹主査より、資料 放-36-1「放送業務委員会（第35回）議事概要（案）」に基づき、第35回放送業務委員会の議事概要案が確認された。議事概要案について構成員からの意見はなく、案のとおり総務省HPに掲載することとなった。

3. ITU-R SG6 関連会合への対処について

3.1. ITU-R SG6 関連会合の概要について

事務局より、資料 放-36-2「2020年2月ITU-R SG6 関連会合の概要」に基づき、次回のITU-R SG6 関連会合について説明が行われた。

3.2. 外国寄与文書への対処案について

西田専門委員より、資料 放-36-3「放送業務WGにおける検討結果」及び資料 放-36-4「外国寄与文書審議表（案）一覧」に基づき、外国寄与文書の審議表案について説明が行われた。質疑の概要は次のとおり。

【6A/585 An.9 新レポート/勧告草案 ITU-R BT. [INTRO-NEWTECH] に向けた作業文書および作業計画「DTTBサービスの新たなシステム、技術およびアプリケーションの導入方策」】

都竹主査：本件は、日本から寄書を提出するものではないようだが、重要度「1」とした理由は何か。

西田専門委員：国内でも地上デジタル放送方式の高度化について、情報通信審議会での検討が始まっているため、重要度「1」で対処は「静観」とした。

3.3. 日本寄与文書案について

西田専門委員より、資料 放-36-3「放送業務WGにおける検討結果」及び資料 放-36-5「日本寄与文書（案）一覧」に基づき、日本から提出される予定の寄与文書案について説明が行われた。質疑の概要は次のとおり。

【A2 新レポート草案 ITU-R [ENG/PMSE_RES59]に向けた作業文書に対する情報更新「日本におけるワイヤレスマイクの周波数利用」】

大谷専門委員：免許制度であるにもかかわらず「利用者相互の運用調整が必要」とはどういうことか。

西田専門委員：免許人同士が、同じ周波数を共用しているため調整が必要になるもの。

大谷専門委員：その旨どこかに記載したほうが良いのではないか。

都竹主査：運用調整について、脚注5として補足してはどうか。

西田専門委員：了解。

【B1 勧告 ITU-R BT. 2075 改訂提案「IBB システム」ハイブリッドキャストシステムのアップデート】

大谷専門委員： P. 48 の「standadised」は「r」が抜けているのではないか。

西田専門委員： ご指摘のとおり修正する。

【B2 勧告 BS. 2088 に規定される BW64 音声ファイルにおける BWF 音声ファイルの chunks の XML 記述法の検討提案】

児玉専門委員： 注意すべき諸外国の動向に記載の EBU Core のメタデータとは何か。

西田専門委員： メタデータの規定には EBU で定められたものがあり、それに基づいて ITU-R 勧告が策定されている。そのため、日本の要望を伝えつつ、整合を図っていく必要があるという趣旨。

【G2 新レポート案 ITU-R BS. [SoundTest]の提案「先進的音響システムのためのテスト音源」】

都 竹 主 査： これまでにテスト音源の標準的なものはなかったのか。

西田専門委員： 事実上共通的に使用されているものはあるが、ITU の文書として明文化されているものはなかった。

3. 4. ITU-R SG6 関連会合への対処方針案について

事務局より、資料 放-36-6「ITU-R SG6 関連会合への対処方針（案）」に基づき、SG6 会合への対処方針案について説明が行われた。

4. その他

4. 1. 今後のスケジュールについて

事務局より、資料 放-36-7「今後のスケジュール（案）」に基づき、2月の ITU-R SG6 関連会合に関する今後のスケジュールについて説明が行われた。

4. 2. RA-19 結果, WRC-23 議題について

事務局より、資料 放-36-8「国際電気通信連合（ITU）2019 年無線通信総会（RA-19）の結果について（第 146 回情報通信審議会情報通信技術分科会資料）」及び資料 放-36-9「国際電気通信連合（ITU）2023 年世界無線通信会議（WRC-23）の議題一覧（第 146 回情報通信審議会情報通信技術分科会資料一部抜粋）」に基づき、2019 年 10 月から 11 月にかけて開催された RA, WRC, CPM-19 の結果について説明が行われ、次のとおり意見が述べられた。

西田専門委員： 新決議については、放送業務のプレゼンスを向上していこうとする動きが背景にあり、危機感が反映された結果だと受け止めている。WRC-23 議題については、議題 1.5 のほか、議題 1.4、議題 1.12、課題 a)、課題 c) も放送業務への影響がある可能性があるため、注視したい。

以上